

会議顛末書

						記 録 者	主 幹 吉 永 健 男		
決 裁	市 長	副 市 長	教 育 長	部 長	課 長	課 長 補 佐	主 係	査 長	グ ル ー プ 員
	/								
件 名	令和2年度第1回龍ヶ崎市学区審議会								
日 時	令和2年7月15日（水）午前10時00分～午前10時47分								
場 所	龍ヶ崎市役所附属棟2階第1・2会議室								
出 席 者	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会議員 鴻巣義則市議会議長，山宮留美子市議会副議長，大野誠一郎市議会文教福祉委員会委員 ・市立小学校 村松美一龍ヶ崎西小学校長，藤岡洋子松葉小学校長 ・市立中学校 青山利正城南中学校長，根本清史城西中学校長，湯原徹中根台中学校長，小林孝太郎城ノ内中学校長 ・市立中学校区PTA 大西龍愛宕中学校PTA会長，飯島進城南中学校PTA会長，城山善博長山中学校PTA会長，富山祐一郎城西中学校PTA会長，沼崎智中根台中学校PTA会長，木村敦城ノ内中学校PTA会長 ・事務局 平塚和宏教育長，松尾健治教育部長，中村兼次教育総務課長，関ヶ原功教育総務課長補佐，記録者 								
欠 席 者	なし								
傍 聴 者	なし								
議 事 日 程	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 教育長挨拶 3 自己紹介 4 会長及び副会長の選任 5 会長挨拶 6 諮問書の提出 7 議事 龍ヶ崎市立小中学校の通学区域の変更について 8 閉会 								

教育総務課長	<p>皆様、本日は御多忙の中、お集まりいただきありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから令和2年度第1回龍ヶ崎市学区審議会を開会いたします。それでは、開会に当たりまして平塚教育長より御挨拶をさせていただきます。</p>
教 育 長	<p>おはようございます。教育長の平塚でございます。日頃より本市の教育の充実、発展のために多大なる御支援を賜り、心から感謝を申し上げます。また、本日は龍ヶ崎市学区審議会に公務御多忙の中、また、コロナ不安の中、委員の皆様の御出席に改めて御礼を申し上げます。</p> <p>若干御時間をいただきまして、龍ヶ崎市の学区の変遷等についてお話ししたいと思います。本市の学校区、いわゆる通学区の適正化を図ることを議題として、本日の審議をお願いしますが、歴史的には、明治6、7年の頃、町村毎に学校が設立されてきました。明治時代に創設された現存する学校は、本市では小学校が5校ございます。その他の学校は市町村の合併等を経て、半数以上の小中学校は、昭和の50年代後半から統合、新設されてきました。その学校の移り変わりの結果として、1つの小学校から2つの中学校に進学する小学校が出てきてしまったという現状がございます。これは、道路設備、都市開発、ニュータウン建設、そして各小中学校の児童生徒数の減少、その差の是正、地元の学校への愛着等が入り組みあったことから、そうなったと考えられます。</p> <p>私も教員時代に、その2つの学校の教員をした経験があり、6年生の進学指導が非常に難しい状況があったということを記憶しています。</p> <p>そして、今般、より効率的な学習指導、学校運営のために小学校、中学校が9カ年間一貫して指導できるような体制づくりが必要であると教育委員会は考えており、学区の変更が必要な地区が出てきました。現状、指定校変更、居住地の指定校以外に通学の申請も実態として相当数出てきています。今回の審議のタイミングもその一つと判断しています。</p> <p>我が町龍ヶ崎の将来を担う子ども達の健全育成を視野に入れて、当委員会から諮問させていただくことを御理解いただければと思います。忌憚のない御意見をいただければと思います。どうぞよろしく申し上げます。</p>
教育総務課長	<p>本日の会議の開催に当たりましては、委員総数15名のところ、14名の方の御出席をいただいております。過半数に達していることから、会議が成立していることを御報告させていただきます。</p> <p>また、この審議会では各委員からいただいた御意見につきまして、その内容を委員の氏名を記載した上で議事録に記載し、公表させていただきますので、御理解のほど、よろしくお願いたします。</p> <p>なお、委員の皆様には大変恐縮ですが、本来であれば委嘱状を平塚教育長が読み上げて交付させていただくところではありますが、今般の新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、あらかじめ机の上に委嘱状を置かせていただいております。御了承いただければと思います。</p> <p>それでは、本日は初めての会議となりますので、委員の皆様にご自己紹介をお願いいたします。鴻巣議長から順番にお願いいたします。</p> <p>(自己紹介)</p>
教育総務課長	<p>続いて、教育委員会の職員も自己紹介をさせていただきます。</p> <p>(自己紹介)</p>
教育総務課長	<p>さて、本日の会議次第の4は、会長及び副会長の選任となっております。この学区審議会には、会長1人、副会長1人を置くこととなっております。選出に当たりましては、条例の規定により委員の互選によることとなっております。この会長、副会長の選出に関しまして、どなたか御意見ございますか。</p>
山 宮 委 員	<p>事務局で案はありますか。</p>

教育総務課長	事務局で案があればという御意見をいただきました。これまでは慣例により、会長は市議会議長、副会長は学校長会にお願いしてきた経緯がございます。今回もこれでよろしいでしょうか。
全 委 員	(異議なし)
教育総務課長	それでは、会長には鴻巣市議会議長、副会長には藤岡学校長会副会長にお願いしたいと思います。 会長が決定しましたので、ここからの進行は鴻巣会長にお願いしたいと思います。それでは、会長席へ御移動願います。
会 長	会長に選任いただきまして誠にありがとうございます。 この学区審議会につきましては、教育委員会の諮問機関となっており、市立学校通学区域の適正化を図るために設置されているところです。したがって、この後、教育委員会から当審議会に対しまして、龍ヶ崎市立小中学校の通学区域の変更に関する諮問書が提出されますので、その内容を審議し、結果を教育委員会に対し答申することとなります。 つきましては、円滑な会議の運営に関しまして、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。
教育総務課長	ありがとうございます。それでは、平塚教育長から鴻巣会長に諮問書を提出させていただきます。 (諮問書を提出)
会 長	ただいま諮問書が提出されましたので、会議を進めてまいりたいと思います。はじめに、諮問の内容について、事務局から説明をお願いします。 (資料に基づき説明) (飯島委員出席)
会 長	ただいま事務局から説明がありましたとおり、本日の諮問事項は、現在、卒業生の進学先が別の中学校に分かれている川原代小学校及び馴馬台小学校の学区に関しまして、見直しを図るものであります。 これにつきまして、御意見、御質問等がございましたらお願いいたします。
大 野 委 員	姫宮地区から2つの小学校に通っている状況は、いつ頃から現れてきましたか。
教育総務課長	正確な資料が手元にありませんので、はっきりとは申し上げられませんが、姫宮地区につきましては、龍ヶ崎西小学校ができた頃から、指定校変更して通っている児童が多くなってきたのではないかと考えています。
大 野 委 員	龍ヶ崎西小学校は何年に創設されましたか。
教 育 長	昭和57年です。
大 野 委 員	平成から、これまでこういう傾向が続いたということですよ。それから、馴馬町につきましては馴馬小学校が無くなってから、2つの中学校に分かれる状況が始まったと思ってよろしいですか。
教育総務課長	大野委員御指摘のとおりだと思います。馴馬台小学校が平成5年に開校、平成7年に中根台中学校が開校しています。そういった経緯の中で、2つの中学校に分かれる状況になったと考えています。

大野委員	わかりました。長期間そういった状況が続いていたのを解消するということだと思います。指定校変更の主な理由は何ですか。
教育総務課長	指定校変更の理由につきましては、様々ありますが、おそらく通学上の安全性を理由としたものが主になっていると思います。
大野委員	通学上の安全性ということになると、馴馬町の場合、愛宕中学校が近い中で中根台中学校に通う事になりますので、学区変更した後、逆に愛宕中学校に通いたいということがあると思います。相談に応じるということですが、どうなりますか。
教育長	指定校変更の理由には、保護者の理由と子どもの理由がございます。保護者の場合は、先ほど中村課長が言ったとおり通学面の安全。子どもの理由について、思春期である小学校6年生の子ども達は、人間関係について非常に悩む時期ですので、同じ仲間と中学校に進学したい、友達も少なくなってしまう、そういうことが不安で指定校変更の申請が上がってきます。先ほどの説明にありましたように、弾力的に相談には応じていきたいと考えています。
大野委員	ぜひ、そのようにお願いしたいと思います。それから、川原代小学校では地域を分断するという反対意見がありました。そのことについて御理解はどのように得ましたか。
教育総務課長	確かに地域を分断するというような意見がありました。ただ、馴馬台小学校、川原代小学校ともに在校生の保護者と未就学児の保護者で3回意見交換会を行いました。その中で、このようなお話をされた方がおりました。私は川原代小学校に行って、その後、愛宕中学校に通っていました。その際に愛宕中学校に通った同級生が少なく非常に肩身の狭い思いをしたと、切実におっしゃっていた方がいらっしゃいました。その後も、卒業してから川原代小学校の運動会に行く機会があったらしいんですが、その時も城西中学校区と愛宕中学校区に保護者が分かれてしまっており、再度、非常に肩身の狭い思いをしたということでした。その方は、未就学の子どもがいるということですが、自分の子どもには、そういった思いはさせたくないということでした。結局、その方は小学校について龍ヶ崎西小学校でも川原代小学校でもこだわりはない、中学校も愛宕中学校でも城西中学校でもこだわりはないが、とにかく自分の子どもにそういう思いはさせたくないという意見がありました。そういうことを申し上げまして、地域を分断するという考え方もありますが、そういった保護者の声もありますということを申し上げましたところ、納得はしていただかなかったとは思いますが、学区を見直すことについては一定の御理解をいただいたと感じているところです。
大野委員	川原代ふれあい協議会の方々もお話されていましたが、コミュニティに関しまして、川原代町の知手地区と姫宮地区に分かれたことについては、龍ヶ崎西のコミュニティ、それから川原代のコミュニティに分かれますか。
教育総務課長	コミュニティに関しましては、学区が分かれることによって、コミュニティも分かれることはないと考えています。これは、北文間小学校が龍ヶ崎西小学校と統合した際も、そういった話があったかと記憶をしておりますが、現時点も、北文間小学校のコミュニティが分かれていることはないと思っています。
会長	その他ございませんか。
全委員	(なし)
会長	他に無いようでしたら、これまで御審議いただいていたところですが、当審議会として、意見を集約したいと思います。

<p>全 委 員 会 長 教育総務課長</p>	<p>当審議会といたしまして、本日、諮問のあった龍ヶ崎市立小中学校の通学区域の変更につきましては、教育委員会の原案で差し支えないとの答申でよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、そのように決定させていただき、答申書を作成し、教育委員会へ送付させていただきます。</p> <p>それでは、本日の議事は以上となります。委員の皆様には円滑な会議の運営に御協力をいただき、ありがとうございました。</p> <p>鴻巣会長、ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様におかれましては、長時間にわたり御審議いただきましてありがとうございました。</p> <p>教育委員会では、この答申を受けまして来年4月の学区変更に向けて準備を進めてまいりたいと思います。今後とも、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願いを申し上げます。学区審議会を終了させていただきます。</p>		
<p>情 報 公 開</p>	<p>公開</p>	<p>非公開（一部非公開を含む）とする理由</p>	<p>(龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当)</p>
		<p>公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）</p>	<p>年 月 日</p>